

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

## Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2019-04-01 No. 107



株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation  
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

### コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 15 Ed. 9.0 (2018-05) 電気照明及び類似機器 EMI 限度値及び測定方法 ..	3
IEC: 新規格リスト .....	9
ISO: 新規格リスト .....	11
UNECE: 車両規制調和のための世界フォーラム: 1958 年協定の改定 3 — よくある質問 .....	12
国際テーマ: 米国の新しい Nemko CBTL: ロサンゼルス地区所在 QAI 試験所 .....	12
国際テーマ: 新しいウクライナの無線機器規制が施行 .....	13
国際テーマ: 湾岸標準化機構 GSO はステークホルダーのための公開会議を 4 月 2 日に計画 ..	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 .....	14

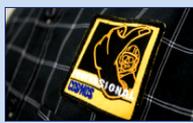
USA: FCC: Part 15: KDB: デジタル伝送システム (DTS)、FHSS (DSS) の試験手順は? .....	15
USA: DOT: 危険物: 航空機によって輸送されるリチウム電池に対する安全向上の規定 .....	17
USA: DOT: 米国連邦自動車安全基準: 電気自動車: 自動車の電解液の流出および感電防止 ..	17
USA: EPA: エネルギースタープログラム: コンピュータ新基準及び製品届出書様式の改正 ..	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 .....	18
USA: ANSI/UL: 新規格リスト .....	18
USA: IEEE: 新規格リスト .....	19
カナダ: ホワイトスペースデバイスに対する技術/政策枠組みに関する決定 .....	20
カナダ: ワイヤレスマイクに対する技術/政策/免許の枠組みの決定 .....	20

EU: Brexit: 工業製品に関する EU からのイギリスの離脱に関する質問と回答 .....	22
EU: Brexit: 車両等の型式承認に関する EU からの英国の離脱に関する質問および回答 .....	25
EU: 玩具安全指令 2009/48/EC: 楽器に関するガイダンス文書 No 10 .....	27
EU: 新しいエネルギー効率ラベルの概説: 単一の「A から G」エネルギーラベルへ移行 .....	28
EU: CENELEC: 新規格リスト .....	29
EU: ETSI: 新規格リスト .....	31
オーストラリア: 製品供給と適合性: ACMA の規制要件を確認する 6 つの手順(4/7) .....	32

中国: CNCA: 電気ヒーター製品の認証リスク警告の実施に関する公告 .....	34
中国: CQC: 家庭用及び類似用途の F 型及び B 型残余電流動作式ブレーカー製品強制性認証 ..	35
中国: CQC: 低電圧制御装置の認証規則改訂に関する通知 .....	35
中国: CQC: 通信配電システムの電力品質補償装置の自主性認証への新版規格等の実施 .....	35
中国: 新規格リスト .....	36
台湾: 「台湾高効率太陽光発電モジュール技術規範」の改正を通知、即日発効 .....	36
台湾: 「検査対象の収納式電気温水器およびエアコン商品の関連検査規定」の改正通知 .....	36
台湾: 「検査対象の電子式トイレ商品の関連検査規定」に変更する改正通知 .....	36
台湾: 新規格リスト .....	37
韓国: 電磁波強度測定基準: 告示第 2019-3 号: 5G 移動通信関連無線局 .....	37
韓国: 端末装置の技術基準: 告示第 2019-4 号: 10 ギガ超え速度インターネット対応 .....	37
韓国: 電気用品安全基準の改正予告: 公告第 2019-0047 号: 電気自動車の充電用アダプタ .....	38
韓国: 国家技術標準院告示第 2019-0021 号: リチウム二次電池の安全基準を改正 .....	38

総務省: 平成 30 年度無線設備試買テストの中間結果報告 (3 月期) .....	39
総務省: UWB 無線システム屋外利用、6 GHz 超え電波に対する電波防護指針等への答申等 ..	39
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 31 年 3 月分) .....	41
経済産業省: Web に電気用品名解説を追加、モバイルバッテリー啓発用ポスター を追加 .....	42
国土交通省: 車載式故障診断装置 OBD を活用した自動車検査手法のあり方 最終報告書 .....	43
国土交通省: UNECE: 座席ベルトに関する協定期則 (第 16 号) 及び第 17 号協定期則関連 ..	43
国土交通省: 経済産業省: 環境省: 3 省連携による ZEH 等の推進施策について合同説明会 ..	44

ちょっといっぶん~クイズコーナー ウクライナの通信機器認証機関について .....	14
コスモス・コーポレイション: 塩水噴霧試験 .....	21
社長の独り言 .....	45



### IEC: 規格解説: CISPR 15 Ed. 9.0 (2018-05) 電気照明及び類似機器 EMI 限度値及び測定方法

- ダミー蛍光灯を使用し挿入損失測定により蛍光灯器具の妨害性能を測定する方法は本版で廃止になった。
- 3つの基本ポートの考え方を導入:
  - ① 有線ネットワークポート、② ローカル有線ポート、及び③ エンクロージャポート
- 有線ポートの評価に対する限度値と方法  
最近の照明器具では、ネットワークで制御する方式のものも存在することから新しく有線ネットワーク に対応している。
- エンクロージャポートの評価に対する限度値と方法:周波数範囲 30 MHz～1 GHz  
放射妨害波の測定周波数上限を本版で 300 MHz から 1 GHz へ拡大。照明器具の小型化・高機能化により、高い周波数帯においても放射妨害波が発生する可能性を無視できないため。

### USA: FCC: Part 15: KDB: デジタル伝送システム (DTS)、FHSS (DSS) の試験手順は?

- Section 15.247 の要求事項の対象となるデジタル伝送システム (DTS)、周波数ホッピングスペクトラム拡散システム FHSS (DSS)、およびハイブリッドデバイス測定に対する試験手順についての質問と回答。

### EU: Brexit: 工業製品に関する EU からのイギリスの離脱に関する質問と回答 EU: Brexit: 車両 等の型式承認に関する EU からの英国の離脱に関する質問 および回答

- 英国の下院は 3 月 29 日、欧州連合離脱合意案のうち離脱条件を定めた主要部分の協定のみを対象にした採決を行い、反対多数で否決した。英政府は 4 月 12 日までに新たな方針を EU 側に示す必要に迫られている。合意なき離脱などの可能性が改めて浮上している。
- 上記の二稿は、①工業製品に関する欧州連合からのイギリスの離脱に関する質問と回答、② 車両、システム、コンポーネントおよび個別技術ユニットの型式承認に関する欧州連合からの英国の離脱に関する質問および回答であり、後者は、2019 年 1 月 8 日、欧州連合からのイギリスの離脱に関する連合の型式承認法制を補完する **規制 (EU) 2019/26** が、採択されており、それに基づいて、提供されている。両稿とも EU からの UK の合意なき離脱の場合の商品の取り扱いの考え方を述べている。これ等解説中の 2019 年 3 月 30 日は 2019 年 4 月 13 日と置き換えて読むべきである。

### EU: 新しいエネルギー効率ラベル の概説: 単一の「A から G」エネルギーラベルへ移行

- 欧州委員会は本日、6つの製品グループに対し、新しいエネルギー効率ラベルの最終フォーマットを採択した。単一の「A から G」エネルギーラベルへ移行する。新しいラベルは 2021 年 3 月 1 日からヨーロッパ各地の店舗及びオンラインで使用される予定である。

### 総務省: UWB 無線システム屋外利用、6 GHz 超え電波に対する電波防護指針等への答申

- 電波監理審議会 (第 1062 回) 会議資料が公表された。以下の事項などに対する諮問への答申が示された: UWB 無線システム屋外利用に係る制度整備、9GHz 帯船舶用固体素子レーダーの導入に係る制度整備、6 GHz を超える場合の高周波領域における電波防護指針の改定等に伴う制度整備

## 社長の独り言

平成 31 年 3 月 21 日

濱口 慶一

桜の花の咲く頃となりました。弊社の近くでは、早咲きの山桜などは既に散った木もあります。朝夕はまだ寒い日もありますが、少しずつ確実に暖かくなってきているように思います。

趣味の日本蜜蜂も桜の花の蜜で分蜂の時期が近づいています。新しい空の巣箱を近くに設置して、何とか入って居ついてくれないかと期待する毎日です。ところが、ついに自宅近くの山で大きなソーラー発電システムの工事が始まってしまいました。この地域にいた日本蜜蜂が追い出されて新しい巣を捜していることを期待しつつも、山を潰してのソーラー発電システム建設には反対です。宮川という清流の川がありますが、大雨などの時にきつと濁ってしまうだろうと思うのです。私はアマチュア無線を楽しんでいますが、アマチュア無線局から 100m 以内へのソーラー発電の設置には自主規制としてアマチュア無線家の承諾を取る、との約束もほとんど無視されています。実際に、ノイズフロアの増加は海外の微弱な電波を完全に消し去る高レベルになってきました。ということもあり、元々住んでいた明野の方への移転を計画中です。

さて、この”社長の独り言”でたびたび話題にさせていただいていますが、以前に元 T 社の T 氏から”濱口さん、自分の思いを自由に話す濱口塾を開設したら、製品安全での自分の思いを業界の多くの関係者に伝えることができますよ”とご指導いただき、コスモス塾を始めました。

毎回 30 分程度は私が話す時間をとっていたのですが、体調を上手く整えることができずに代理の講師を立てることになってしまい、参加者の皆様にご迷惑をお掛けしました。コスモス塾を今後も継続していくように CS 部ならびに講師を担当する技術スタッフに指示していますが、よくよく考えると、最近はこの業界でもウェビナーが実施されており、ウェビナーというやり方もあるのではないかと考えるようになりました。

参加者の皆様がセミナー会場に足を運んでいただく時間は、各企業で担当されている業務の遂行に大きな影響を与えているのではないかと感じています。ウェビナーであればこの移動時間を節約できます。もちろん顔を合わせてのセミナーも必要ですが、これからの新しい通信技術を利用した、どこにいても受講でき、講師もどこからでも指導できるというところを目指していくべきと考えています。

弊社は海外の製品安全マークの取得代行業からスタートして、今は認証機関として日本政府の一部の認証業務等をさせて頂いています。認証機関にはコンサルタント業務の禁止や、利害関係者との公平性確保をはじめ、各種法令への法令順守が求められます。会社が業務を通じて利益を上げ、より多くの利益をと、特定の利害関係者への接待などをする 것도、公平性の観点から強く禁止されています。一方で企業としては業績を伸ばし、社会貢献に寄与すべきと考えています。社員への配分と設備投資や社員の教育費等の準備金として内部保留が必要になりますが、それだけではありません。安全・安心で貢献したいと考えています。私は弊社の業務形態の企業でも、“三方良し”の精神で、社員と地域、お客様、会社とがお互いに共生できるものでなければ生き続けていけないと理解しています。

お客様に製品の安全性適合評価を通じ、安全・安心を届け、かつ、製品の安全性適合評価を通じて得た色々なノウハウはできるだけ早くお客様に還元する。また、お客様の業務で体験した色々なノウハウを 10 年、20 年と持ち続けて、絶対に同じ失敗を繰り返さない。そのような技術集団としてコスモスを成長させたいと私は思うのです。私は製品安全業界に約 40 年かかわってきました。業界の良い所や悪い所など、いろいろと経験してきましたが、私なりに個人的な成果と思うことが一つあります。創業当初、T 社製フォトカプラーの中にある 0.4 mm のポリエステルフィルム的一次側と二次側の絶縁確保を見習って、お客様の製品に IEC950 等の規定をいち早く取り込み、そのお客様の製品を競合会社より優位に販売にできたことです。そろそろ巷では終焉活動と言われる年齢になり、一人で満足する最近です。

ご高配を賜りますよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	MLIT: Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism	国土交通省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

**コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2019-04-01 (No. 107)**

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <http://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2019 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。